

鹿児島県立鹿児島南高等学校

令和 8 年度

鹿南高魂育成のための  
教育活動計画

体育科

# 令和8年度 鹿南高魂育成のための教育活動計画内容一覧

## (目次)

シラバス内容		内容の掲載ページ		
		普通科	商業・情報処理科	体育科
1.教育目標等		p.1 (全学科共通)		
2.ルーブリック		p.2 (全学科共通)		
3.年間教育活動計画	1年	pp.3-4 (全学科共通)		
	2年	pp.5-6 (全学科共通)		
	3年	pp.7-8 (全学科共通)		
4.学習活動計画	国語	pp.9-18	pp.9-13	pp.9-13
	社会	pp.19-32	pp.14-16	pp.14-16
	数学	pp.33-37	pp.17-19	pp.17-19
	理科	pp.38-48	pp.20-21	pp.20-22
	体育	pp.49-53	pp.22-26	pp.23-24
	芸術	pp.54-62	pp.27-29	pp.25-27
	英語	pp.63-69	pp.30-32	pp.28-30
	家庭	p.70	pp.33-34	pp.31-32
	情報	p.71	—	pp.33
	商業 商業・情報処理科 専門	—	pp.35-64	—
	体育 体育科 専門	—	—	pp.34-50

生徒の迎える未来＝変化の激しい未来  
 (AI・ロボット・新技術の発展に伴う職業の淘汰, ライフデザインの変更, 価値観の変化)

そこで

鹿児島南高校としてのミッション: **自ら未来を切り拓く人材の育成を目指す**  
**主体的に考え, 能動的に行動し, (独立自尊)**  
**常にチャレンジ・進化し続け, (開拓創造)**  
**他者と協働して社会貢献できる(協力奉仕)人材の育成をはかる**

具体的には

**【普通科】**

多岐にわたる分野で未来をデザインし, 世界へ発信するリーダー及びチームとして協働できる人材

**【商業科・情報処理科】**

ビジネス・情報のスペシャリストとしての自覚を備え, グローバルに活躍するビジネスリーダー及びチームとして協働できる人材

**【体育科】**

日本や世界のスポーツの発展や振興, 競技力の向上のためのリーダー及びチームとして協働できる人材

学科の特性を活かした教育 “鹿児島に貢献し, そして世界へ”

必要な力

**鹿児島南で身につける力＝“鹿南高魂”の育成**

- 【学科共通】基礎力:** あいさつ・礼儀作法, 思考・実践の材料や根拠となる学力(知識), 他者との関わりで欠かせないコミュニケーション能力(聞く力も含む), 情報収集力等
- 思考力:** 想像力・未来を予測する力, 課題を発見する力, 客観的に物事を見つめる力(メタ認知), 論理的思考力(筋道を立てた考え方), 情報分析力(批判的思考力(クリティカルシンキング)), 創造する力等
- 実践力:** 情報発信力(ICTの利活用等), 課題を解決する力, 未来を切り拓くキャリア設計力, 主体的な行動力, 協働力(チームワーク)等

**【普通科】**

グローバルな視野で世界を考え, 現代社会の抱える課題を克服に導く力

**【商業科・情報処理科】**

経済社会・情報社会の将来に貢献する起業家精神と実行力

**【体育科】**

スポーツを通して地域社会や国際社会の未来に貢献する力

様々な活動を通して

育成期  
1学年

【共通】 新入生がぐんす, 授業, 課外活動, 体育祭, 文化祭, クラスマッチ, ボランティア活動, 一日遠足  
 【普通科】 全国統一模試, 文理選択, GTEC受験, 総合的な探究の時間  
 【商業科・情報処理科】 進路マップ, 各資格検定  
 【体育科】 進路マップ, 野外活動

充実期  
2学年

【共通】 授業, 課外活動, 体育祭, 文化祭, クラスマッチ, ボランティア活動, 修学旅行  
 【普通科】 全国統一模試, GTEC受験, 総合的な探究の時間  
 【商業科・情報処理科】 進路マップ, 就業体験学習, 各資格検定及び上級資格検定  
 【体育科】 進路マップ, 野外活動

発展期  
3学年

【共通】 授業, 課外活動, 体育祭, 文化祭, クラスマッチ, ボランティア活動, 受験勉強  
 【普通科】 全国統一模試, 総合的な探究の時間  
 【商業科・情報処理科】 課題研究, 各資格検定及び上級資格検定  
 【体育科】 野外活動, 課題研究

		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	目指す姿
基礎力	挨拶・礼儀(基礎人間力)	相手に挨拶されたら挨拶を返す。敬語が使える。	自分から積極的に挨拶をすることができる。敬語の使い分けができる。	校内はもちろん、校外においても自分に関わりのある地域の方や保護者の方々に積極的に声を出して挨拶ができる。	校内外において、笑顔で、誰に対しても挨拶ができる。相手の心情や状況に応じた振る舞い(会釈と語先後礼の使い分け等)ができる。	
	思考・実践の材料や根拠となる学力(知識)	授業の内容を教師の説明を聞いて理解する。または定期考査で50点程度取れる。	一度授業で扱ったところの学習内容を復習等見直すことで思い出せる。または定期考査で60点程度取れる。	学習内容がしっかりと定着しており、いつでもそれを引き出すことができる。または定期考査で70点程度取れる。	普段の生活の中で学習内容をいつでも応用させることができる。または定期考査で80点以上取れる。	
	コミュニケーション能力	発表を原稿を読みながら伝える。人の話を静かに聴く。	聞き手の目を見ながら伝えることができる。相手の話を聞きながら要点を整理できる。それに感想を言える。	相手の反応に応じて適切な言葉遣いで伝えることができる。相手の話の要点をまとめ、根拠のある批評や的確な質問をすることができる。	適切な言葉遣いや話術で説得力のあるプレゼンや説明ができる。他者からの質問や批判に真摯に耳を傾け、聞かれたことに的確に答えたり、批判を論破できる。	
	情報収集力	情報源を複数持っている(ほしい情報がどれを調べれば入手できるか知っている)。	観察した状況から問題点や課題を考えようとする。	状況を整理して問題点や課題を他者に伝え、他者からもさらに関連する情報を得ることができる。	整理した状況から次のステップに移る手段を提案できる。	
思考力	想像力・未来を予測する力	物事や行動について、その後の結果を考える習慣が身につけている。	物事や行動の結果を過去の経験や現在の状況を踏まえて考えることができる。	未知の状況を、現在とることのできる手段に応じて考えることができる。	未知の状況を、現在とることのできる手段に応じて考え、何らかのアクションを起こすことまで考えることができる。	自ら未来を切り拓く人 主体的に考え、能動的に行動し、(独立自尊)常にチャレンジ・進化し続け、(開拓創造)他者と協働して社会貢献できる(協力奉仕)人
	課題を発見する力	自己の生活や身近な社会について改善したほうが良いと考えていることがある。	自己の生活や身近な社会から、地域社会や世界に拡張して改善したほうが良いと考えていることがある。	改善したほうが良いと考える課題の原因にまで掘り下げてその改善策を探究することができる。	課題の原因や改善策を追求する中で生じる新たな疑問を発見できる。また、改善策を多角的に検討することができる。	
	客観的に物事を見つめる力(メタ認知)	自分の学習状況の理解と不足しているものを理解している。	自分の学習に不足しているものを理解し、それを補うための行動を起こすことができる。	学習計画を立て計画的に克服のプロセスを踏んでいる。	自分の学習計画や学習方法を結果に基づいて検証し、修正を加えながらより良いものにして努力を継続できる。	
	論理的思考力	相手の意見を聞き、自分との共通点・相違点をそれぞれ理解している。	自分との共通点・相違点がそれぞれ生じている理由や根拠を言うことができる。	共通点・相違点の根拠を検討したり、他の解釈や情報の分析をしたりして、見解が異なる理由を説明できる。	自分と異なる見解を認めたり、他の視点からの情報を論理的に分析したりしている。さらに、根拠に基づいた多角的な視点で探究している。	
	情報分析力(批判的思考力(クリティカルシンキング))	日常生活の中で『なぜ?』という問いかけをするようにしている。	感じた疑問の解決策を、自分の今現在持っている情報をもとに考えることができる。	感じた疑問の解決策を、複数の情報を批判的に吟味した上で取捨選択し、総合的に考えることができる。	感じた疑問の解決策を考える中で生じる新たな疑問に対して、同様に批判的な情報吟味によって解決策を考え提案できる。	
	創造する力	自分の考えを持っている。	新しく学んだことや他者の意見・様々なアイデアを活用しようとするることができる。	積極的に求めて得た複数の意見・アイデア・計画を統合し、独自のアイデアを考えることができる。	独創的なアイデアや計画を創造し、他者とともにそれを実現しようとする。	
実践力	情報発信力	伝えたいことを自分の中で思っている。	伝えたいことを一方的に相手に伝えることができる。	伝えたいことを、最も効果的な伝達手段を考えて、それにしたがって伝えることができる。	相手に伝えたことを聞きながら、さらに情報を修正整理して伝えることができる。	
	課題を解決する力	課題の存在やその内容を理解している。	課題の原因や背景を追究し、解決するプロセスを提案できる。	原因を追究し、解決する様々なプロセスを検討し、1つ以上の解決策を提案する。実行可能性についても検討することができる。	原因追究に基づいて解決策を提案し、実行可能性や解決のメリット・デメリットについて幅広く考えることができる。	
	未来を切り拓くキャリア設計力	働くことの意味を理解している(職業観の育成がなされている)。将来の進路について考えている。	自己の適性を理解しようとして、進路についての情報を集めたり等して積極的に模索している。	希望する進路に向けて、自らの進路を切り拓くための課題(学力や教科バランス等)を理解している。	将来の夢の実現のために希望する進路や自己の適性を把握し、進路実現に向けて自らの課題を克服する努力を継続している。	
	主体的な行動力	言われたことを、言われたことの意味を理解したうえで言われたとおり実行する。	言われたことをそのままではなく自分なりの改善を加えて実行できる。また、自分の経験からとるべき行動を考えることができる。	自分がとるべき行動を周囲の状況から判断して自発的にとることができる。チームやメンバーの作業の進捗状況からスケジュール・締切に応じたタイムマネジメントができる。	周囲を巻き込みながら自発的な活動を拡大していくことができる。チームやメンバーの能力や適性に適した作業を割り振り、適宜必要な修正を加えながら完成まで導く。	
	協働力(チームワーク)	身近なメンバーに助けを求めたり、支援したりできる。	課題解決に向けて行動計画を示したり、他者の提案を受け入れたりし、メンバーに対して肯定的な話し方や表情で接することができる。	課題解決に向けて新たな提案や代替的な考えを示すことができる。メンバーのモチベーションを上げて前進を助ける。	チームで課題解決した成果や手ごたえが持てる。また、チームメンバーがその課題を卓越したレベルで完成するのを率先して支援することができる。	
普通科	グローバルな視野で世界を考え、現代社会の抱える課題を克服に導く力	基礎力レベル2程度 思考力レベル1程度 実践力レベル1程度 地域社会も含む世界に興味関心がある。	基礎力レベル3程度 思考力レベル2程度 実践力レベル2程度 世界の情報や知識を自分のできる範囲の努力で得ている。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3程度 実践力レベル2程度 世界各地が抱える具体的な課題に対して原因を知り、自分の意見を持っている。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3以上 実践力レベル3以上 世界が抱える具体的な課題に対して自分自身がどう行動すればよいか考え、行動に移している。	
	情報基礎科 経済社会・情報社会の将来に貢献する起業家精神と実行力	基礎力レベル2程度 思考力レベル1程度 実践力レベル1程度 【観る力】相手の立場や考えを尊重し、その形成過程等を的確に捉えることができる。	基礎力レベル3程度 思考力レベル2程度 実践力レベル2程度 【さく力】過不足なく聞き取り(聞く)、話を引き出し(聴く)、根拠適否を確かめるための適切な質問(訊く)ができる。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3程度 実践力レベル2程度 【伝える力】要点をまとめ、簡潔に話し、相手に印象づけるために抑揚をつけて話ができる。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3以上 実践力レベル3以上 【感じる力】相手の心情を察知し、会話等とおし、相手をよりよく知ることができる。	
体育科	スポーツを通して地域社会や国際社会の未来に貢献する力	基礎力レベル2程度 思考力レベル1程度 実践力レベル1程度 生涯スポーツに向けて、運動やスポーツの技能を高めたり、健康的な生活習慣を身につけたりしている。	基礎力レベル3程度 思考力レベル2程度 実践力レベル2程度 健康やスポーツを社会の中で考えていける力を身につけている。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3程度 実践力レベル2程度 自らの競技力向上だけでなく、チームや他者の競技力向上にも適切な援助ができる。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3以上 実践力レベル3以上 競技者としてだけでなく、指導者としてふさわしい資質を身につけている。	

学期	月	担当部署	企画名	基礎力			思考力				実践力				活動内容等 Classiにアップ				
				関接力 (礼儀・基礎人)	派根力 (実践の材料や)	思考力 (コミュニケーション)	情報収集力	想像力 (未来を予測)	課題を先見する力	客観的に物事を見つめる力 (メタ認知)	論理的思考力	情報分析力 (批判的)	創造する力	情報発信力		課題を解決する力	未来を切り拓く 力	主体的な行動力	協働力 (チームワーク)
学年目標				育成期(基礎力養成期):鹿南高魂の土台づくりをする。															
学期目標				中学生から「鹿南生」になる。															
1年生(育成期(基礎力養成期))	4	教務	入学式	○		○		○	○										
		教務	対面式			○		○	○										
		教務	全校朝礼	○		○		○	○										
		生指	頭髪服装指導	○		○				○									
		進路	課題実力者選		○		○		○	○				○				事前・事後感想記入	
		進・学	新入生ガイダンス	○	○	○	○												
		学指	新入生オリエンテーション	○	○	○	○												
		進路	進路希望調査①			○	○	○		○	○				○				記入
		保健	健康診断	○						○									
		教務	三書面談	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入
		学指	一日遠足	○		○									○		○	○	(感想記入)
		生指	学校生活アンケート							○									
		5	教務	全校朝礼	○		○		○	○									
	学指		学年別朝礼	○		○		○	○										
	学科		学科別朝礼	○		○		○	○										
	生指		頭髪服装指導	○		○				○									
	生指		情報モラル講座		○	○	○	○	○										(感想)
	生指		交通安全教室	○	○	○	○	○	○										(感想)
	生指		生徒集会	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入
	教務		教育実習	○		○					○								
	生指		教育相談	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入
	体育		体育科野外活動	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入
	6	教務	全校朝礼	○		○		○	○										
		学指	学年別朝礼	○		○		○	○										
		学科	学科別朝礼	○		○		○	○										
		生指	頭髪服装指導	○		○				○									
		進路	第1年生進路ガイダンス		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				ワークショップ・感想記入
		生指	薬物乱用防止教室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				感想記入
		生指	学校生活アンケート							○									
		生指	生徒会役員改選			○	○	○	○				○						
		高情	全高ビジネス計算実務検定		○		○				○				○				(事前事後感想記入)
		進路	第1回学路情報調査			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前事後感想記入
		教務	期末考査	○		○		○		○					○				事前事後感想記入
		家庭	家庭クラブボランティア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入
		学級	体育祭選手選定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	経過の記録
	学級	文化祭関係話し合い		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	経過の記録	
	保健	防火防災訓練		○	○	○	○	○	○					○					
	7・8	進路	1年生進路講演会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				ワークショップ・感想記入
		教務	全校朝礼	○		○		○	○										
		学指	学年別朝礼	○		○		○	○										
学科		学科別朝礼	○		○		○	○											
生指		頭髪服装指導	○		○				○										
進路		対外模試(普通科)		○		○		○	○					○				事前・事後感想記入	
高情		全高ビジネス文書実務検定		○		○				○				○				(事前・事後感想記入)	
教務		拜講大会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入	
生指		クラスマッチ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入	
進路		1学期の反省と2学期への決意		○		○		○	○	○	○	○	○	○				感想記入	
教務		大掃除・終業式	○		○		○		○										
進路		夏季課外	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
学級・学級		体育祭準備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	経過の記録	
学級・学級		文化祭準備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	経過の記録	
教務	中学生一日体験入学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
進路	職業インタビュー	○		○		○		○					○				記録		
進路	文理研究(普通科)	○		○		○		○									記録		
進路	オープンキャンパス	○		○		○		○		○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入		
生指	教育相談	○		○		○		○		○	○	○	○	○	○	○	感想記入		

学期	月	担当部署	企画名	基礎力				思考力				実践力				活動内容等 Classiにアップ
				間接力 (礼儀・基礎人)	基礎 (基礎人)	思考・実践 (基礎人)	コミュニケーション	想像力・未来を予測	課題を発見する力	客観的に物事を見つめる力 (メタ認知)	論理的思考力	情報分析力 (批判的 ルシキング)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	

学期目標 **未来の自分や社会を考える。**

1 二学期	教務	始業式・大掃除	○	○	○	○	○	○																
	教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○																
	学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○																
	学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○																
	生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○																
	進路	課題実力査定	○	○	○	○	○	○														事前・事後感想記入		
	生指	教育相談	○	○	○	○	○	○																
	進路	対外模試(普通科)	○	○	○	○	○	○															事前・事後感想記入	
	高情	全商情報処理検定	○	○	○	○	○	○															感想記入	
	生指	文化祭	○	○	○	○	○	○															事前・事後感想記入	
	生指	学校生活アンケート	○	○	○	○	○	○																
	10 二学期	教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○															
学年		学年別朝礼	○	○	○	○	○	○																
学科		学科別朝礼	○	○	○	○	○	○																
生指		頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○																
教務		芸術鑑賞会	○	○	○	○	○	○															感想記入	
生指		交通安全教室	○	○	○	○	○	○																
高情		1・2年ビジネスマナー講座	○	○	○	○	○	○																
進路		対外模試(普通科)	○	○	○	○	○	○															事前・事後感想記入	
進路		進路マップ(高情体)	○	○	○	○	○	○															事前・事後感想記入	
生指		学校生活アンケート	○	○	○	○	○	○																
11 二学期		教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○															
		学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○															
	学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○																
	生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○																
	学年	普通科文理選択	○	○	○	○	○	○																
	体育	持久走大会	○	○	○	○	○	○															感想記入	
	高情	全商ビジネス計算実務検定	○	○	○	○	○	○																
	保健	歯科講話	○	○	○	○	○	○																ワークショップ・感想記入
	高情	日商簿記検定	○	○	○	○	○	○																
	生指	校内読書会	○	○	○	○	○	○																
	高情	全商ビジネス文書実務検定	○	○	○	○	○	○																
	進路	第2回学習時間協議会	○	○	○	○	○	○																
教務	期末考査	○	○	○	○	○	○															事前・事後感想記入		
保健	防火防災訓練	○	○	○	○	○	○																	
家庭	家庭クラブボランティア	○	○	○	○	○	○																感想記入	
12 二学期	教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○																
	学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○																
	学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○																
	生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○																
	進路	GTEC英語検定試験	○	○	○	○	○	○																事前・事後感想記入
	高情	全商英検	○	○	○	○	○	○																
	保健	教職法実習	○	○	○	○	○	○																感想記入
	家庭	認知症リポーター養成講座	○	○	○	○	○	○																感想記入
	進路	2学期の反省と3学期の決意	○	○	○	○	○	○																感想記入
	教務	大掃除・終業式	○	○	○	○	○	○																
	進路	冬季課外	○	○	○	○	○	○																

学期目標 **1年間の総まとめと2年生への準備(育成期(基礎力養成期)→充実期(思考力養成期)への移行)。**

1 三学期	教務	始業式・大掃除	○	○	○	○	○	○																	
	教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○																	
	学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○																	
	学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○																	
	生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○																	
	進路	課題実力査定	○	○	○	○	○	○																事前・事後感想記入	
	生指	教育相談	○	○	○	○	○	○																	
	進路	対外模試(普通科)	○	○	○	○	○	○																事前・事後感想記入	
	高情	全商情報処理検定	○	○	○	○	○	○																	
	生指	学校生活アンケート	○	○	○	○	○	○																	
	高情	3年生課題研究発表会	○	○	○	○	○	○																事前・感想記入	
	体育	体育科課題研究発表大会	○	○	○	○	○	○																事前・感想記入	
2 三学期	教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○																	
	学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○																	
	学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○																	
	生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○																	
	高情	全商商業経済検定	○	○	○	○	○	○																	
	生指	安全教室	○	○	○	○	○	○																感想記入	
	教務	学年末考査	○	○	○	○	○	○																事前・事後感想記入	
	高情	日商簿記検定	○	○	○	○	○	○																	
	3 三学期	教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○																
		学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○																
		学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○																
		生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○																
教務		3年生卒業式	○	○	○	○	○	○																	
教務		自営学習期間	○	○	○	○	○	○																	
生指		クラスマッチ	○	○	○	○	○	○															(事前・事後感想記入)		
進路		スタリボ(普通科)	○	○	○	○	○	○																	
進路		合格体験を聴く会	○	○	○	○	○	○																感想記入	
進路		3学期と1年間の反省	○	○	○	○	○	○																感想記入	
教務		修了式	○	○	○	○	○	○																	
教務		離任式	○	○	○	○	○	○																	











使用教科書	『高等学校言語文化』(数研出版)	副教材等	「書いて覚えて実践する 高校生の語彙と漢字」(桐原書店)・古語辞典・国語辞典
学習の到達目標	知識・技能	国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深め、古典を読むために必要なきまりを理解する。	
	思考・判断・表現	論理的に考える力を身に付け、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

学年	学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力					活動内容・評価規準		
				力検 標・ 指標 (基礎 人間)	と 思 考 ・ 実 践 の 力 (加 深)	コ ミ ニ ケ イ シ ョ ン 能 力	情 報 取 扱 力	力 思 考 力 ・ 主 観 を 手 測 す る	課 題 を 発 見 す る 力	方 客 観 的 に 物 事 を 見 つ め る	論 理 的 思 考 力	シ ン ク ラ リ テ イ ・ シ ン ク ラ リ テ イ ・ シ ン ク ラ リ テ イ	情 報 分 析 力 (批 判 的 思 考 力)	創 造 す る 力	情 報 発 信 力	課 題 を 解 決 す る 力		未 来 を 切 り 拓 く キ ャ ラ ・ ア	主 体 的 な 行 動 力
二年 (基礎力養成期)	一 学 期	4	古文入門 「見のぞら寝」	○	○													[知技]・古典を読むために必要なきまりや古典特有の表現などについて理解できるようになる。 [思判表]・「読むこと」において、作品の成立した背景や経緯等を知り、古語と現代語の言葉とのつながりについて理解できるようになる。 [知技]・漢文訓読のきまりについて理解できるようになる。 [主]・積極的に自らの作品世界を構築し、学習課大に沿って自分の考えを文章にしている。 [知技]・比喩などの修辞について理解を深めている。 [思判表]・登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題について考えをまとめられるようになる。	
		5																	
		6	漢文入門 「入門一」「入門二」	○	○														
		7	羅生門	○	○														
二年 (基礎力養成期)	二 学 期	9	徒然草 「神無月のころ」	○	○													[知技]・古典の世界に親しむために、文語のきまりや訓読のきまり、特有の表現等を学ぶ。 [思判表]・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できるようになる。 [思判表]・小説表現の面白さを味わいながら、登場人物の行動や心情を読み取り、考察する。 [主]・進んで題名の意味を解釈し、学習課題に沿って話し合いに参加している。 [知技]・訓読の決まりを理解し、読むことができるようになる。 [思判表]・現在用いられる故事成語の多くが漢文に由来することを踏まえてうえで、故事成語の成り立ちへの理解を深める。	
		10																	
		11	城の崎にて	○	○														
		12	戦国策 「漁夫之利」	○	○														
二年 (思考力養成期)	三 学 期	1	伊勢物語「茅川」	○	○													[思判表]・話の展開を読み取り、歌に込められた男の心情について理解を深める。 [主]・歌物語の特徴を理解し、その表現の手法やテーマに沿って、各章段に描かれた内容を的確に捉えることができるようになる。 [知技]・文章中の表現について、春秋・戦国時代の歴史的背景を踏まえて説明する。 [主]・話の展開や登場人物の言動を読み取り、十八史略の面白さを味わう。	
		2																	
		3	十八史略「題口牛後」	○	○														

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期考査や課題実力考査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期考査や課題実力考査
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	・ノートの記事状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度

使用教科書	『高等学校言語文化』(数研出版)	副教材等	「書いて覚えて実践する 高校生の言葉と漢字」(桐原書店)・古語辞典
学習の到達目標	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	
	思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

学年	学期	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準	
				力理解・表現・読解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	論理的に考える力	深く共感したり豊かに想像したりする力	伝え合う力	主体的に学習に取り組む態度	読書に親しみ自己を向上させる力	言葉を通して他者や社会に関わろうとする力	言葉を通して他者や社会に関わろうとする力			
二年(基礎力養成期)	一学期	4	竹取物語 「なよ竹のかぐや姫」	○	○										[知技]・古典を読むために必要なきまりや古典特有の表現などについて理解できるようになる。 [思判表]・古語と現代語の言葉とのつながりについて理解できるようになる。	
		6	枕草子 「ありがたきもの」	○	○											[知技]・古典の世界に親しみ、作品や文章の歴史的、文化的背景などを理解できるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることができるようになる。
		7	小説 「沖繩の手記から」	○	○											[知技]・小説の鑑賞方法を習得する。 [思判表]・登場人物の心理、行動を的確に読み取ることができるようになる。
二年(思考力養成期)	二学期	9	詩文 「雑談」	○	○											[知技]・比較的長い、平易な文章に慣れ、訓読のきまりについて確認する。 [思判表]・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できるようになる。
		11	軍記物語 「平家物語」	○	○											[思判表]・登場人物の心理を読み取る。 [知技]・口語訳の方を身に付ける。 [主]・作り物語に表れた多様な思いを的確に捉えようとしている。
		12	小説 「山月記」(中島敦)	○	○											[知技]・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 [思判表]・内容や構成、展開などについて叙述を踏まえ、内容の解釈を深めている。 [主]・人間が虎になるという設定の効果について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。
二年(応用力養成期)	三学期	1	日記 「土佐日記」	○	○											[知技]・古典の世界に親しみ、作品や文章の歴史的、文化的背景などを理解できるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることができるようになる。
		2	史話 「管鮑之交」	○	○											[知技]・比較的長い、平易な文章に慣れ、訓読のきまりについて確認する。 [思判表]・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できるようになる。 [主]・史話のおもしろさを味わおうとしている。
		3	俳諧 「おくのほそ道」 思想 「論語」	○	○											[知技]・古典の世界に親しみ、作品や文章の歴史的、文化的背景などを理解できるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることができるようになる。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期検査や課題実力検査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期検査や課題実力検査
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度

使用教科書	『新論理国語』(三省堂)	副教材等	「書いて覚えて実践する 高校生の語彙と漢字」(桐原書店)・国語辞典
学習の到達目標	知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	
	思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準	
			力理解・丸読(基礎力)	思考・表現の力(基礎力)	コミュニケーション能力	力想像力・未来を予測する力	課題を見出す力	力客観的に物事を見つめる力	論理的思考力	情報分析力(批判的思考力)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力		主体的な行動力
二年(基礎力養成期)	4	「若者に友達プレッシャー」 「自分を捉え直す」  「一人で爆笑」  「世界のあり方」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・評論を読むために必要な語彙を身に付け、論理の構造について理解できるようにする。 [思判表]・表現の特徴に気をつけながら筆者の主張を読み取ることができるようになる。
	6		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・データを整理し、書き手の意図や主張を支える根拠を捉える方法を身に付ける。 [思判表]・筆者の主張を的確に読み取り、自らの考えを表現できるようにする。
	7		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
二年(思考力養成期)	9	「それぞれのしっくりくる言葉」 「女性/男性だから○○」  「落語の中の経済学」 「ホンモノのおカネの作り方」  「『展示』が伝えるもの」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・文のつながり、事実と主張の関係に注意して文章を読めるようにする。 [思判表]・人間の思考と言葉の関係、表現の意義について理解を深める。
	11		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・文章や論理の構成を捉えながら書き手の意図を読み解くための知識を身に付ける。 [思判表]・比喩表現や例え話に留意しながら、筆者の主張を理解する。
	12		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
二年(応用力養成期)	1	「なぜ私たちは労働するのか」  「『すべり台社会』と“溜め”」  「誰かの靴を履いてみること」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・筆者の経験を手がかりに働くことと言葉の関わりについて考える。 [思判表]・筆者のものの見方、感じ方、考え方を読み取り、言葉についての理解を深める。
	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・“溜め”という言葉と「すべり台社会」の関係について読み取る。 [思判表]・引用が筆者の論点にもたらす効果を読み取り、説明する。 [主]・自らの労働観を深めようとしている。
	3		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期考査、単元テスト、課題実力考査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期考査、単元テスト、課題実力考査
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度

使用教科書	『新論理国語』（三省堂）	副教材等	「書いて覚えて実践する 高校生の語彙と漢字」（桐原書店）・国語辞典
学習の到達目標	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	
	思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

学年	学期	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準					
				方挨拶・礼儀（基礎人間）	と思考・天候の字力（知識）	コミュニケーション能力	情報取集力	力想像力・未来を予測する	課題を見出す力	力客観的に認知する	論理的思考力	シグナリチー（批判的思考）	創造する力	情報発信力		課題を解決する力	計画を切り拓くキャリア	主体的な行動力	（ナレッジワーク）	
二年（基礎力養成期）	一学期	4	「人類による環境への影響」 「言語ゲームと哲学的態度」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・文章の構成や展開の仕方について理解できるようになる。 [思判表]・具体と抽象の関係を理解し、筆者の論の進め方の意図を整理することができるようになる。 [主]・言葉を通して他者や社会と関わろうとしている。		
		6		「この十年をどう生きるか」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	[知技]・資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えることができるようになる。 [思判表]・多様な論点を結びつけ、筆者の説明方法の特徴を理解できるようになる。 [主]・言葉を通して他者や社会と関わろうとしている。
		7		「〈自動車〉と〈映像〉の二十世紀」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
二年（思考力養成期）	二学期	9	「日本マンガのブルーオーシャン戦略」 「学びとは何か」 「『知る』ということ」 「文系と理系の壁はあるか」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・関連する文書や資料を基に、必要な情報を関係付けて整理することができるようになる。 [思判表]・読者を想定した事例の効果を検証し、筆者の立場や目的、意図を読み取ることができるようになる。 [知技]・様々な事例を取り上げながら、その具体例を手がかりに論理的に考える方法を習得する。 [思判表]・事例どうしを関連付けることで必要な情報を整理し、筆者の論の進め方を読み取ることができるようになる。 [主]・言葉を通して他者や社会と関わろうとしている。 [知技]・文章の種類を踏まえて、論点を明確にしながら要旨を把握することができるようになる。 [思判表]・文章の構成や展開、筆者の主張に着目し、新たな観点から自分の考えを深めることができるようになる。 [主]・言葉を通して他者や社会と関わろうとしている。		
		10		「学びとは何か」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
		11 12		「『知る』ということ」 「文系と理系の壁はあるか」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
二年（応用力養成期）	三学期	1	「科学には限界があるか」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・論証するために必要な語句を文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにする。 [思判表]・筆者の主張を補正することで納得できる論点を構築し、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようになる。 [主]・言葉を通して他者や社会と関わろうとしている。		
		2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
		3		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期考査、単元テスト、課題実力考査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期考査、単元テスト、課題実力考査
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度

使用教科書	地理総合 世界に学び地域へつなぐ (山川出版) 新詳 高等地図 (帝國書院)	副教材等	地理総合ワークブック (山川出版)
学習の到達目標	知識・技能	生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。	
	思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色等を、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	
	主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。	

学期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準				
			力探・把握 力	思考・判断 力	コミュニケーション 力	情報収集 力	課題を 発見する 力	客観的に 物事を見つ める力	論理的思考 力	シミュレーション 力	情報分析力 力	創造する 力	情報発信 力	課題を 解決する 力		アセスメント 力	主体的な 行動力	協働 力	
一学期	4 5	地図とGISの活用 1 球面状の世界 2 地図とGIS 3 国家の領域と国際関係 4 人・モノ・情報のつながり	○	○	○	○													[知技] 地球上での位置の示し方を理解し、日常生活における時差計算の技能を身に付ける。 [知技] 世界地図の様々な国法の特徴を捉え、グローバルな立場から日本の領域を理解する。 [知技] 地図やGISを活用する技能を身に付ける。 [思判表] 統計地図やグラフを読み取る技能を身に付け、資料を根拠に課題解決の方策を考える。 [主] 地図や地理情報システムと現代世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
		6 7	地理的環境の特色 1 地形と生活文化 2 気候と生活文化 3 産業と生活文化 4 宗教・言語と生活文化	○	○	○													
	9 10	世界各地の生活文化 1 東アジア 2 東南アジア 3 南アジア	○	○	○														[知技] 社会経済システムの変化に焦点を当て、中国や韓国を例にその特徴を捉える。 [知技] 多民族社会と地域統合に焦点を当て、多様な文化をもつ東南アジアについて理解する。 [思判表] 南アジアの水資源に焦点を当て、水資源と宗教、農業、文化や産業の関わりを各種資料をもとに考察する。
		11	イスラーム圏 4 アフリカ 5 印と周辺諸国 6 ロシアと周辺諸国	○	○	○													
二学期	8 9 10	アングロアメリカ ラテンアメリカ オセアニア	○	○	○													[知技] 社会経済システムのグローバル化に焦点を当て、アメリカやカナダを例に多民族社会とその歴史的背景について理解する。 [思判表] 開発に焦点を当て、植民の歴史とそこに展開する産業を主題図や各種資料から捉える。 [主] 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
		1	地球の課題と国際協力 1 地球環境問題 2 資源・エネルギー問題	○	○	○													[知技] 地球環境問題がグローバルな問題であると同時に、自らの問題でもあることをSDGsを踏まえて認識する。 [主] 各種資源について、分布の偏在やそれにもともなう格差、資源の枯渇などの問題とその解決に向けた取り組みをSDGsに関連づけて捉える。
	2 3 4 5	人口問題 食料問題 居住・都市問題	○	○	○													[思判表] 人口が急増する世界の現状を捉え、人口ピラミッドや相関図などの資料から人口問題の構造と地域差を捉え、その背景や問題点を整理する。 [主] 都市に人口が集中する現状とそれにもともなう問題を捉え、都市計画とSDGsと関連づけながら解決策を考える。	
三学期	1 2	生活圏の諸課題 1 日本の自然環境と防災 2 生活圏の諸課題と地域調査	○	○	○													[知技] 日本列島の自然環境の特徴を理解し、自然災害の事例についてハザードマップや気象情報などを活用する技能とともに捉える。 [主] 日本が抱える地域的な課題について、身近な事例を取り上げ、少子高齢化や過疎化について調査の技能を身に付ける。	
		3	人口問題 食料問題 居住・都市問題	○	○	○													[思判表] 人口が急増する世界の現状を捉え、人口ピラミッドや相関図などの資料から人口問題の構造と地域差を捉え、その背景や問題点を整理する。 [主] 都市に人口が集中する現状とそれにもともなう問題を捉え、都市計画とSDGsと関連づけながら解決策を考える。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	現代世界の地理的事象についての基本的知識を身に付け、相互の関連について理解し、地図の独図や資料の読み取りなどの地理的技術を身に付けている。	
思考・判断・表現	現代世界の地理的事象について、地域性や歴史的背景を踏まえ、地理的見方・考え方から考察し、地理情報を活用して表現している。	小テスト、単元テスト、定期考査など 話し合い活動や発表 作業学習への取り組みと成果
主体的に学習に取り組む態度	周囲と協働して積極的に地理的問題について考察を深め、地理を学ぶことを自己の成長につなげている。	



使用教科書	歴史総合新訂版 (実教出版)	副教材等	歴史総合新訂版 演習ノート (実教出版)
学習の到達目標	知識・技能	近現代の歴史の形成について理解し、資料を適切に活用する技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	近現代の歴史を多面的・多角的に考察し、それを説明したり、議論したりする力を身に付ける。	
	主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の理解をとおして、我が国および他の国の文化を尊重することの大切さを身に付ける。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準	
			情報収集力	情報活用能力	情報発信力	論理的思考力	批判的思考力	創造力	課題を解決する力	主体的な行動力	主体的な行動力	主体的な行動力	主体的な行動力		
一学期	4	第1編 近代化と私たち 第1章 近代化への胎動	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「加技」身の回りの事象と世界の歴史がつながっていることを理解する。 「加技」近代化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付ける。 「加技」日・韓・欧米のアジア各地域間や諸国間の貿易と、日本への影響について理解する。 「思判表」大航海時代から「世界の一体化」に至る貿易の意義と地理的変化について考察し、自分の言葉で表現する。 「主」諸資料から近代化について理解し、見通しをもって学習に取り組む。
	5	第2章 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「加技」市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国別分業制確立の経緯を理解する。 「思判表」市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現在社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現する。 「主」市民革命や産業革命がもたらした課題について、解決策を追究しようとする。
	6	第3章 欧米諸国と日本の国民国家形成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「加技」明治維新後の日本の変化やアジア諸国の変容について理解する。 「思判表」明治維新の歴史的意義や立憲体制の確立について、現代の日本への影響と関連性について考察し、自分の言葉で表現する。 「主」明治維新や日本の立憲体制の確立、アジア諸国の変容が、現代社会にどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策を追究する。
	7	第4章 帝国主義の時代	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「加技」日清・日露戦争が国内や周辺地域に与えた影響や帝国主義による世界分割を理解する。 「思判表」日清・日露戦争が国内や周辺地域に与えた影響や国民国家の形成・発展による野望、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、自分の言葉で表現する。 「主」国民国家や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について、追究する。 「主」近代化について、よりよい社会の実現を視野に現代につながる課題を見出すようとする。
二学期	9	第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第5章 第一次世界大戦と大衆社会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「主」諸資料から大衆化について理解し、見通しをもって学習に取り組む。 「加技」国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦の経緯と、その後の影響や社会の変化について理解する。 「思判表」第一次世界大戦の戦力体制が社会に与えた影響、その後の戦後・国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、自分の言葉で表現する。 「主」戦力体制に基づく国際秩序と大衆の戦争参加、ウェルシュ人種に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現在の社会につながるどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとする。
	10	第6章 経済危機と第二次世界大戦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「加技」世界恐慌から第二次世界大戦の経緯に至るまでの経緯について、大衆とメディアの関わりに着目しながら理解する。 「思判表」ワシントン体制の形成から終戦に至るまで、ドイツや日本で大衆化がどのように進んでいったのかを考察し、自分の言葉で表現する。 「主」大衆の戦争への参加という問題を現代社会における課題としてとらえ、その解決策を追究しようとする。
	11	第3編 グローバル化と私たち 第7章 冷戦と脱植民地化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「加技」冷戦および冷戦後の形成と、国連を中心とする平和に向けた新たな国際秩序について、日本と関連性ながら理解する。 「思判表」第二次世界大戦以前と以後の国際関係を比較することで、戦争の経緯が人々に与えたものの考察し、自分の言葉で表現する。 「主」大戦後に形成された平和構築体制における課題、現代社会にどのような影響を与えているのかについて考察し、解決策を追究しようとする。 「主」現代的な諸課題に絡む国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解し、よりよい社会の実現を視野に現代につながる課題を見出すようとする。
	12	第8章 多極化する世界	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「加技」諸資料からグローバル化について理解し、多様な人々が共存する社会の発展について、見通しをもって学習に取り組む。 「加技」冷戦下の緊張と核の拡散と、そのなかでの「第三世界」の形成や日本の高度経済成長など冷戦下における各国の選択について、理解する。 「思判表」冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずから言葉で表現する。 「主」冷戦下における各国の政治的・経済的選択が、現代社会にどのような課題を生み出したのかを考察し、解決策について追究しようとする。
三学期	1	第9章 グローバル化と現代世界	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「加技」冷戦終結の過程とグローバル化の特徴について理解する。 「思判表」グローバル化の進展や情報革命、テクノロジーの進化について各地域を比較して考察し、その影響や課題を自分の言葉で表現する。 「主」冷戦の終結とグローバル化の進展がどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとする。
	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「加技」グローバル化に伴う多極化やグローバル化運動への対応、多極性の容認などをみずから問題として理解する。 「思判表」グローバル化が進むなかでの日本の役割について、求められるものの課題を考察し、表現する。 「加技」身の回りの課題を考察するうえで歴史的見方や考え方を活用することが、現在の課題解決や伝統的の未来を構想するうえで大切であることを理解する。 「主」みずから問いを立て、分析の方法や視点を設定し、その答えを追究しようとする。 「主」分析や考察の結果を他者と共有したり、比較したりして、自分の考えをより良いものに改善しようとする。
	3		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「加技」グローバル化に伴う多極化やグローバル化運動への対応、多極性の容認などをみずから問題として理解する。 「思判表」グローバル化が進むなかでの日本の役割について、求められるものの課題を考察し、表現する。 「加技」身の回りの課題を考察するうえで歴史的見方や考え方を活用することが、現在の課題解決や伝統的の未来を構想するうえで大切であることを理解する。 「主」みずから問いを立て、分析の方法や視点を設定し、その答えを追究しようとする。 「主」分析や考察の結果を他者と共有したり、比較したりして、自分の考えをより良いものに改善しようとする。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	・授業への取り組み ・提出課題、レポート ・定期考査等、小テスト ・ディスカッション ・グループワーク ほか
思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、発表したりする力を身に付けている。	
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を協働して主体的に追究、解決しようとしている。	

使用教科書	改訂版 新編 数学 I (数研)	副教材等	類比方式による2025 数学 I・A 問題集 (九教教)
学習の到達目標	知識・技能	数式、図形やデータについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に解釈する技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	論理的に考察する力、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	
	主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度や創造性を養う。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容等		
			関わり方・礼儀(基礎力)	真摯な態度と主体的な学習の力(基礎力)	自己管理能力(基礎力)	学習する力(基礎力)	課題を発見する力	論理的に考察する力	事象を数学的に考察する力	問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力	課題を解決する力	課題を整理する力	課題を表現する力		課題を評価する力	
一年(基礎力養成期)	4 5	1章 数と式 1節 式の計算 2節 実数 3節 1次不等式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・数式の基本的な計算ができる。 ・実数の意味を理解し、根号を含む式の計算ができる。 ・不等式の性質をもとに、1次不等式を解くことができる。 ・2次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算することができる。 【思考・判断・表現】 ・既習事項を利用して、問題解決に向けて式を適切に立てたり、変形できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く考え、数学的論議に基づき判断しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。
	6 7	2章 集合と命題	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・集合に関する記号の意味を理解し適切に使うことができる。 ・集合と要素の個数について理解する。 ・命題と必要十分条件の用語の定義を学び、理解する。 【思考・判断・表現】 ・集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く考え、数学的論議に基づき判断しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。
	9 10	3章 2次関数 1節 2次関数とグラフ 2節 2次関数の値の変化 3節 2次方程式と2次不等式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
二年(思考力養成期)	11 12	4章 図形と計量 1節 鋭角の三角比 2節 三角形への応用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・三角比を理解し、様々な値を求めることができる。 ・鋭角の三角比の値を用いて、鈍角の三角比の値を求めることができる。 ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係を考察したり、説明したりしようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く考え、数学的論議に基づき判断しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。
	1 2 3	5章 データの分析	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・データを整理し、代表値・散らばりについて理解する。 ・相関関係を1つの数値として表す方法として、相関係数を理解する。 【思考・判断・表現】 ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く考え、数学的論議に基づき判断しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解できる。数学と人間の活動の関係について認識を深めることができる。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身に付いている。	
思考・判断・表現	性質を見いだし、論理的に考察することができる。性質などに基づいて判断することができる。数学と人間の関わりに着目し、事象に数学的構造を見いだし、論理的に考察することができる。	授業への取組(主体的に学習に取り組む態度) 提出課題、演習プリント(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度) 課題考査(知識・技能、思考・判断・表現) 単元テスト定期考査、小テスト(知識・技能、思考・判断・表現)
主体的に学習に取り組む態度	積極的に学習している。数学のよさを認識し数学を活用したり、粘り強く考え数学的論議に基づいて判断したりしようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。	

使用教科書	数学A Standard (東京書籍)	副教材等	類比方式による 数学I+A (九数教)
学習の到達目標	知識・技能	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技術を身に付ける。	
	思考・判断・表現	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	
	主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	

学年	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準	
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
一学期	4	1章 場合の数と確率 1節 集合と場合の数 ・数え上げの原則と集合の要素の個数 ・順列	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5	・組合せ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6	2節 確率とその基本性質 ・事象と基本事 ・確率の基本性質	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6	3節 いろいろな確率 ・独立な試行の確率 ・反復試行の確率	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7	・条件付き確率 ・期待値	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9	2章 図形の性質 1節 三角形の比 ・三角形の相似 ・三角形の外心・内心・重心	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
二学期	10	・三角形の比の定理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11	2節 円の性質 ・円の性質 ・方べきの定理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11	・2つの円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11	3節 空間図形 ・空間における直線・2平面の関係 ・直線と平面の関係	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	作図の方法の考察	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
三学期	1	3章 数学と人間の活動 1節 数える ・数との出会い ・数の拡張	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2	数学I・数学Aの復習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解できる。数学と人間の活動の関係について認識を深めることができる。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技術を身に付けている。	授業態度 (主体的に学習に取り組む態度)
思考・判断・表現	性質を見だし、論理的に考察することができる。性質などに基づいて判断することができる。数学と人間の関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察することができる。	課題 (知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度) 課題別能力考察 (知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度) 定期考査 (単元テスト、小テスト) グループワーク
主体的に学習に取り組む態度	積極的に学習しようとする。数学のよさを認識し数学を活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。	



使用教科書	高等学校 改訂 科学と人間生活 (第一学習社)	副教材等	改訂 ネオバルノート科学と人間生活 (第一学習社)
学習の到達目標	知識・技能 科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性について理解する。 思考・判断・表現 身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。 主体的に学習に取り組む態度 身近な事物・現象に関心や探究心をもち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める。		

学期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準	
			方針・目標・知識(基礎)の理解	思考・判断・表現の能力	コミュニケーション能力	情報収集能力	科学的な視点・考察力を養う力	問題を見出す力	科学的な視点・考察力を養う力	論理的思考力	科学的な視点・考察力を養う力	問題を見出す力	問題を見出す力	問題を見出す力		問題を見出す力
一学期	4	第1章 物質の科学 第1節 材料とその利用 ①プラスチックの特徴 ②プラスチックの分類と用途(1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・わたしたちの身のまわりにおけるプラスチックの特徴と、プラスチックの原料について概観理解する。 ・プラスチックやその原料となる物質は、おもに炭素原子と水素原子からなる有機物であることの知識を身に付けている。
	5	③プラスチックの分類と用途(2) ④さまざまなプラスチック ⑤金属と人間生活 ⑥金属とその製錬(1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・高融点性樹脂、導電性樹脂、光透過性樹脂、生分解性プラスチックなどの新しいプラスチックの性質や用途について理解している。 【思・判・表】 ・プラスチックの性質と用途について、実験・観察などを通して科学的に思考できる。 ・熱に対する性質を調べることによって、プラスチックを熱可塑性樹脂と熱硬化性樹脂に分類することができる。
	6 7	⑦金属とその製錬(2) ⑧金属のさびと合金 ⑨資源の再利用(1) ⑩資源の再利用(2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・鉄、アルミニウム、銅について、その性質や製錬方法、再利用方法を理解している。 ・資源の再利用方法に関心をもち、特にプラスチックがどのように再利用されているかを理解している。 【思・判・表】 ・金属がガラスの再利用を学び、再利用の必要性について科学的に認識する態度を身に付けている。 【主体的態度】 ・資源の再利用について、社会的課題として意識し、生活を改善する態度を身に付けている。
二学期	9	第II章 生命の科学 第1節 ヒトの生命現象 ①タンパク質のはたらきと構造 ②遺伝子とDNA ③タンパク質の合成 ④血糖濃度の調節	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・タンパク質の構造やはたらきについて、理解している。 ・遺伝子によって決められているヒトの形質に興味をもち、DNAの構造や複製、塩基配列の重要性について理解している。 ・DNAの塩基配列が、タンパク質のアミノ酸配列に置き換えられるしくみについて理解している。 【思・判・表】 ・タンパク質の構造やはたらきについて理解し、血糖濃度の調節のしくみに関する知識を習得している。
	10	⑤血糖濃度と糖尿病 ⑥病原体の排除(1) ⑦病原体の排除(2) ⑧ヒトの視覚(1) ⑨ヒトの視覚(2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・身近な病気である糖尿病について関心をもち、糖尿病の原因、治療法、注意点を理解している。 ・生体防御のうち、物理的・化学的防御と、白血球による食作用のしくみについて理解している。 ・抗体産生による生体防御のしくみ、および二次免疫を利用した予防接種のしくみ、さらにアレルギーについて理解し、知識を身に付けている。 【主体的態度】 ・ヒトの感覚について興味をもち、ヒトの目の構造を学習し、視覚の種類やはたらきについての的確な表現ができる。
	11 12	第III章 熱や光の科学 第1節 熱の性質とその利用 ①温度と熱運動 ②熱量と比熱(1) ③熱量と比熱(2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・身のまわりのさまざまな現象に関心をもち、熱の運動が説明された過程について理解している。 ・身近に感じられる光の反射・屈折の現象に興味をもち、実験を通して、そのしくみを物理的な観点から理解している。 ・身近に感じられる光の分散・乱反射に関心をもち、そのしくみについて、科学的に理解している。
三学期	1	④熱の伝わり方 ⑤仕事や電流と熱の発生 ⑥エネルギーの移り変わり ⑦エネルギー資源の有効活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・身近に感じられる電気の発生・伝導に関心をもち、そのしくみについて、物理的な観点から理解している。 ・日常生活に利用される電磁波に関心をもち、携帯電話、医療、物質の解析や非破壊検査への電磁波の利用について学習し、電磁波のこれからの人間生活への貢献について理解できる。
	2	第IV章 地球や宇宙の科学 第1節 自然景観と自然災害 ①日本列島のなごり ②火山活動と地表の変化 ③火山災害と防災 ④地震活動と地表の変化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・身のまわりの自然景観に関心をもち、日本列島の特色とその成因、日本列島のプレートとの動きについて科学的に理解している。 ・日本の地震に関心をもち、地震の発生するしくみや、日本列島の地質活動とプレートとの関連性について、科学的に理解している。 【思・判・表】 ・日本列島の火山に興味をもち、火山の噴火によって噴き出す噴出物、火山の噴火がおこる原因、火山の形とマグマの関連性、および日本の火山活動について、論理的に思考できる。 【主体的態度】 ・火山の災害を予防するために科学的に学習する態度を示し、火山の噴火によって直接および間接に被害を二次災害、火山噴火の予知と防災について、科学的・論理的に理解し、的確に表現できる。
	3	⑤地震災害と防災 ⑥水のはたらきと地表の変化(1) ⑦水のはたらきと地表の変化(2) ⑧気象災害と防災	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・地震災害と防災について、意識的に学習する態度を示し、地震が直接および被害を伴う二次災害、地震の予知と防災について、科学的に理解している。 【思・判・表】 ・気象災害と防災について関心をもち、雲、雨、雪、霜や霧、台風や大雪など、日本列島で起こる気象災害の特徴とそれがおこるしくみについて、科学的に理解している。また、土砂災害の防災について、論理的に思考できる。 【主体的態度】 ・身近にある河川や湖沼、海に興味をもち、河川のはたらきや治水のはたらきによって形成された地形について、科学的にその形成のようすを表現できる。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身に付け、これからの科学技術と人間生活のあり方について理解している。また、身近な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業、実験中での姿勢</li> <li>実験レポート</li> <li>定期考査、単元テスト</li> <li>提出課題、小テスト</li> </ul>
思考・判断・表現	身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断している。そこから導き出した自らの考えを的確に表現している。	
主体的に学習に取り組む態度	身近な事物・現象に関心や探究心をもち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身に付けている。	

使用教科書	改訂 新編 化学基礎 (東京書籍)	副教材等	ニューサポート化学基礎 (東京書籍)
学習の到達目標	知識・技能	物質とその変化について基本的な概念や原理・法則を理解する。	
	思考・判断・表現	物質とその変化の中に問題を見出し、事象を化学的に考察する。	
	主体的に学習に取り組む態度	日常生活や社会との関連を図り、物質とその変化について関心を高める。	

学期	月	単元名	基礎力		思考力				実践力			活動内容・評価規準	
			力押し・丸覚え・丸暗記	力押し・丸覚え・丸暗記	知識を整理する力	問題を発見する力	問題を解決する力	問題を解決する力	問題を解決する力	問題を解決する力	問題を解決する力		
一学期	4	序章 化学とは何か 1編 物質の構成 1節 物質の成分と構成元素 1節 物質の成分 2節 物質の構成元素	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】純物質と混合物の性質を理解する。 ・混合物から成分となる物質を分離する方法があり、それは物質の性質によるものであることを理解する。 ・物質を構成する元素は、約120種類あることを知る。 【思・判・表】純物質を、単体と化合物に分類できる。 ・元素を、黄色反応や試験の生成で確認できる。
	5	2章 原子の構造と元素の周期表 1節 原子の構造 2節 電子配置と周期表	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】物質が自然に広がっていく現象を拡散といふこと、また、その現象は熱運動によることを理解する。 ・物理変化と化学変化、状態変化の違いを理解する。 ・物質を構成する粒子が原子であること、原子の大きさや構造について知る。 ・原子の構造から陽子、中性子、電子の性質を理解する。 ・原子番号は、原子に含まれる陽子の数であることを知る。 ・質量数が陽子の数と中性子の数であることがわかり、同じ原子であっても質量数の異なるものがあることに気づく。 ・電子配置で電子層への電子の取り方を知る。 【思・判・表】物質には三態があり、それぞれの状態のとき、物質を構成する粒子がどのように運動しているかを推察する。 ・状態変化によって物質の体積がどのように変化するかを確認し、粒子のふるまいと関係について考察する。 ・元素の周期律について確認する。元素の性質の規則性について考察する。
	6	3章 化学結合 1節 イオンとイオン結合	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】身のまわりの物質は原子やイオンがどのような結びつきでできているかを考える。 ・電子配置からイオンの生成を理解する。 ・イオンの価数だけでなく、単原子イオン、多原子イオンの分類を知る。 ・イオン化エネルギーの周期性に基づき、教科書p.43図11などを参考にしながら、典型元素の陽性と陰性について理解する。 【思・判・表】同じ電子配置をもつイオンどうしのイオン半径を比較して考える。
	7	2節 分子と共有結合 3節 金属と金属結合 4節 化学結合と物質の分類	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】分子は、非金属元素の原子が結びついてできた粒子であることを知る。 ・分子の組成、構造、水への溶解性から構成原子の電気陰性度が影響していることに気づく。結合の極性を知り、極性分子と無極性分子について理解する。 ・分子結晶の性質、共有結合の結晶の性質の違いを比較しながら理解する。 ・金属結晶、自由電子のふるまいがわかり、金属結合の仕組みを理解する。 【思・判・表】結合の種類から物質の大きな性質について分類し考察する。 ・周期表の分類と結合の種類との間に、どのような関係性が見られるかを考える。
二学期	9	2編 物質の変化 1節 原子量・分子量・式量 2節 物質量	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】原子1個の質量は極めて小さいため、相対質量であることを知る。 ・原子量、分子量、式量のそれぞれが何を表すかを理解する。 ・粒子数に基づく量の表し方が物質量であることを知る。 ・物質量とその単位molの関係、さらに原子量・分子量・式量との関係やモル質量との関係がわかり、それらの単位変換を理解する。 【思・判・表】物質量と気体の体積との関係がわかり、それらの単位変換ができる。気体の密度と分子量、空気の平均分子量について理解する。 ・物質量を中心とした量的関係を計算で求めることができる。
	10	3節 溶液の濃度 4節 化学反応の表し方 5節 化学反応の表す量的関係	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】モル濃度による溶液の濃度の表し方を理解する。 ・質量パーセント濃度とモル濃度の違いを考える。 ・化学反応式やイオン反応式の書き方やそれが表している内容を理解する。 【思・判・表】化学反応式の係数が表している量的関係を考える。 ・化学変化に伴う質量変化に注目した化学の基本法則を知る。
	11	2章 酸と塩基 1節 酸と塩基 2節 水素イオン濃度とpH	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】酸と塩基の性質について理解する。実験を通して確認する。 ・アレニウスの酸・塩基の定義を理解する。 ・ブレンステッド・ローリーの酸・塩基の定義を理解する。 【思・判・表】酸と塩基の価数を理解し、電離度を比較して酸と塩基の強弱の違いを考察する。 ・水溶液の酸性・塩基性は、水素イオン濃度の大小で判断できる。 ・水溶液の水素イオン濃度は広い範囲で変化するため、pHで表すことができる。 ・pH指示薬と変色域により、水溶液のpHは測定できる。
	12	3節 中和反応と塩の生成 4節 中和滴定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】酸と塩基が完全に中和するときの変化を化学反応式で理解する。 ・酸と塩基が完全に中和したときの塩の水溶液が、中性になるとは限らないことがわかる。 ・中和の条件は、酸から生じるH+の物質量と塩基から生じるOH-の物質量が等しくなることとわかる。 【思・判・表】中和滴定に用いる器具の使い方がわかり、中和滴定の実験操作を理解できる。 ・酸と塩基の組み合わせによる滴定曲線と比較し、適切な指示薬の使い分けを理解できる。
三学期	1	3章 酸化還元反応 1節 酸化と還元 2節 酸化剤と還元剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】酸化と還元は常に同時に起こることを知る。 ・酸素原子や水素原子が関係している反応についても、酸化と還元が電子の授受によって説明できることを理解する。 ・酸化数は、原子やイオンがどの程度の酸化や還元をされているかを示す数値であることを理解する。 【思・判・表】反応前後の酸化数の増減により、酸化と還元が確認できる。 ・代表的な酸化剤、還元剤を知り、それらの水溶液中での反応式と量的関係を理解できる。 【主体的態度】実験観察を通して酸化剤としてはたらく物質は、より強い酸化剤との反応では還元剤となることを知る。 ・酸化還元滴定に用いる器具の使い方がわかり、実験操作を理解する。
	2	3節 金属の酸化還元反応 4節 酸化還元反応の応用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】実験観察を通して金属の陽イオンへのなりやすさを比較し、金属の反応性に違いがあることを知る。 【思・判・表】金属と空気、水、酸などの反応性の違いは、金属のイオン化傾向と深い関係があることを理解する。 ・ゾエール電池のしくみを理解する。金属の製錬には酸化還元反応が関わっていることを知る。 【主体的態度】実験観察を通して、金属のイオン化傾向と電流の流れる向きを比較し関係性を考える。 ・身近に使われている実用電池の構造、それらの用途や特徴を調べて発表する。
	3	終章 化学が拓く世界	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】観察実験や調査を通して、化学基礎で学んできたことが日常生活や社会生活を支えている科学技術と結びついていることを理解する。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	化学と物質に関する実験などを通して、化学の知識を高め、化学を科学的に探究するために必要な実験操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業、実験に対する取り組み方や理解度 実験レポート 定期考査、単元テスト 提出課題、小テスト
思考・判断・表現	化学の問題に対して、ある考えや見通しをもって実験や観察などを行い、課題を解決するための科学的な判断力や表現力が備わっている。	
主体的に学習に取り組む態度	化学の事象・現象を科学的に探究するために、見通しを立て、振り返ったりしながら、主体的に探究し、学習する力が養われている。	

使用教科書	新編生物基礎(東京書籍)	副教材等	ニューサポート新編生物基礎(東京書籍)
学習の到達目標	知識・技能	生物学の基礎となる代謝、遺伝子、恒常性、免疫、生態系の内容を理解する。	
	思考・判断・表現	生命に対する畏敬の念を育み、生命を尊重する考えを養う。	
	主体的に学習に取り組む態度	問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準		
			力検挙・孔底(基礎人間)	と思考・実践の力(加齢や環境)	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する力	問題を発見する力	力客観的に物事を見つめる力	論理的思考力	力力傾斜力(力力傾斜力)	力力傾斜力(力力傾斜力)	力力傾斜力(力力傾斜力)		力力傾斜力(力力傾斜力)	力力傾斜力(力力傾斜力)
一学期	4	【1編 生物の特徴】 1章 生物の多様性と共通性	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・多様な生物の共通点がわかる。 【思考・判断・表現】 ・生物の共通点と相違点を考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・多様な生物に関心をもち、形態や生活の多様さを知ろうとする意欲をもっている。
	5	2章 生物とエネルギー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・葉緑体とミトコンドリアを理解する。 【思考・判断・表現】 ・代謝におけるエネルギーを考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・生命活動に必要なエネルギーと代謝について調べようとする。
	6	【2編 遺伝子とのはたらき】 1章 遺伝情報とDNA	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・DNAの二重らせん構造と塩基について理解できる。 【思考・判断・表現】 ・細胞周期と染色体の関係を考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・DNAの特徴に関心をもち考えようとする。
二学期	9	2章 遺伝情報とタンパク質の合成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・転写と翻訳の過程を理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・塩基配列が、アミノ酸配列に翻訳されると考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・遺伝情報をゲノムとしてとらえることに関心をもち、
	10	【3編 ヒトの体の調節】 1章 ヒトの体を調節するしくみ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・体液の成分や働き、循環系を理解する。 【思考・判断・表現】 ・動物の恒常性が自律神経により調節されていると考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・多様なホルモンが特定の内分泌腺から分泌されていることに関心をもち、
三学期	11	2章 免疫のはたらき	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・生体防御には異物に対する防御と自然免疫、獲得免疫があることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・体液性免疫と細胞性免疫を説明できる。 【主体的に取り組む態度】 ・免疫のしくみに関心をもち、
	1	【4編 生物の多様性と生態系】 1章 植生と遷移 2章 生態系と生物の多様性	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・気温と降水量のデータから各地のバイオームを予想できる。 【思考・判断・表現】 ・バイオームが成立する際の環境要因について考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・世界のバイオームの特色に関心をもち、

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	生物用語とその内容を理解できる。観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	・授業への取組 ・実験レポート ・授業中の小テスト ・提出課題 ・単元テストや期末考査等
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	

使用教科書	地学基礎 新訂版(実教出版)	副教材等	ビジュアルプラス地学基礎ノート(実教出版)
学習の到達目標	知識・技能	地球科学・天文学の基礎となる内容を理解する。	
	思考・判断・表現	地球・宇宙の諸現象について、知識に基づいて論理的に考え、説明する。	
	主体的に学習に取り組む態度	問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善する。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力					活動内容・評価規準		
			力振抄・礼儀(基礎)人間	思考・実践の学力(科目や単元)	情報収集力	想像力・未来を予測する力	取組を見直す力	客観的に物事を見つめる力	論理的思考力	シミュレーション力(分析力)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	アセスメント力	主体的な行動力		自己管理能力	
三年(思考力養成期)	4	1章 地球の構成と運動 1部 地球の構造 2部 プレートと運動 3部 地震と火山															【知技】 ○実際に見えない地球の内部をイメージして構造を理解する。 ○大気の組成や濃さ、層などを学習し、地球上の水との関係を理解する。 ○地球の熱収支は、どのように保たれているかについて学習する。 【思考】 ○地震・火山活動の発生原因や分布、それに伴う二次災害について学び、グループで意見を講じる。 ○大気や雨水の循環、季節の移り変わりを説明する。 ○相互授業を行い、地球に関する知識の定着を確認する。	
	5	2章 大気と海洋 1部 大気大循環 2部 海洋の構造 3部 海水の運動	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	6	4部 日本の四季の気象と気候	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
三年(思考力養成期)	9	3章 宇宙、太陽系と地球の誕生 1部 宇宙の誕生 2部 太陽の誕生 3部 惑星の誕生と地球の成長	○	○	○			○										【知技】 ○宇宙の誕生とその進化、進歩について学ぶ。 ○太陽系の誕生について理解し、太陽の表面の現象と太陽のエネルギー輸送及び太陽系の天体について学ぶ。 【思考】 ○教室内の現象と宇宙で見られる現象に共通する原理や法則についてまとめる。 【主】 ○天文分野について興味のあるテーマをレポートにまとめて、提出する。
	10		○	○	○			○										
	11	4章 古生物の変遷と地球環境の変化 1部 地層の読み方 2部 化石と地質時代の区分 3部 古生物の変遷と地球環境	○	○	○			○										
三年(実践力養成期)	12		○	○	○			○									【知技】 ○地球環境と生物の共進化について学習し、現在の地球環境維持の仕組みを理解する。 【思考】 ○自然の営みと地層形成について問題学習をとおして律得する。 【主】 ○居住地近くの地層標本をレポートにまとめる。	
	1	5章 地球の環境 1部 日本の自然環境 2部 地球環境の科学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		【知技】 ○日本の自然環境を構成する要素について学ぶ。 ○地球全体の環境について、現状と課題を理解する。 【思考】 ○地球環境に関する演習を活用して問題意識を深める。 【主】 ○関連分野の多い環境問題についてレポートをまとめる。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	学習した基本的な概念や、原理・方法が正しく理解でき、自然現象についての知識を身に付けている。推論、実験、検証の過程で科学的な考え方・方法を用いている。	授業、実習中での姿勢 実験レポート 定期考査 提出課題、小テスト
思考・判断・表現	観察、実験結果を正しく判断し、図、グラフ、数式で表現することができる。地学を学ぶ意義と必要性を理解し、自身の日常生活と関連づけながら考えることができる。グループ活動や相互授業において、相手のわかりやすい表現で伝えることができる。	
主体的に学習に取り組む態度	身の回りの現象について関心をもち、意欲的に課題を追求している。グループ活動や相互授業において、積極的に協働する姿勢を習得している。与えられた提出物等を期限を遵守し、自分にとって、より良い状態に仕上げられている。	





使用教科書	MOUSA1 (教育芸術社)	副教材等	Music Note (啓隆社), 高校生の歌集 つどい(啓隆社)
学習の到達目標	知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするための必要な技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	自己のイメージをもって音楽表現を工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。	
	主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準			
			力振替・礼儀(基礎人間)	思考・判断・表現(基礎)	コミュニケーション能力	情報収集力	力感能力・未来を予測する	課題を見える力	力客観的(多角的)に物事を見つめる	論理的思考力	論理的思考力	創造する力	課題を解決する力		課題を解決する力	課題を解決する力	主体的な行動力
一学期 (基礎力養成期)	4・5・6・7	【歌唱】 ・発声の基本を身に付けよう ・曲想を感じて歌おう	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・姿勢や呼吸法、発声法について理解する。 【思考・判断・表現】 ・校歌の歌詞の内容を理解し、旋律を覚える。 ・「翼をください」「負けないで」「花」を学習し、曲にふさわしい表現を歌唱する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・姿勢に気をつけ積極的な態度で歌唱する。
		【器楽】 ・ギターの様式に挑戦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・フォークギターの基本的な奏法を身に付ける。 ・コードを覚える。 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・覚えたコードを使い、簡単な楽曲の様式に挑戦できる。
		【鑑賞】 ・音楽の要素とイメージをつなげよう ・音楽史(古代ギリシア～バロック)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・古代ギリシアからバロック時代までの音楽について、時代ごとの特徴や作品等について理解する。 【思考・判断・表現】 ・鑑賞活動の仕方について学習する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・シンセサイザーの「動物の韻肉類」について理解する。 ・古代ギリシアからバロック時代までの音楽について、時代ごとの特徴や作品等について理解する。
		【理論・ソルフェージュ】 ・音符や休符について ・リズムについて ・ボディーパーカッションを楽しむ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・音符や休符の種類について理解する。 ・リズムについて理解する。 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ボディーパーカッションに取り組み、様々なリズムを演奏できる。
二学期 (基礎力養成期)	9・10・11・12	【歌唱】 ・外国語の歌曲に挑戦 ・日本歌曲に親しまう	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「オーソレミオ」を学習し、歌唱できる。 ・ヴェルナーとシュベルトの「野ばら」について学習し、歌唱できる。 ・「小さな空」等の歌曲について学習し、歌唱できる。
		【器楽】 ・響け!バイオリン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・バイオリンの基本的な奏法を身に付ける。 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・簡単な楽曲を演奏することができる。
		【鑑賞】 ・ピアノによるさまざまな表現効果を感じ取ろう ・音楽史(古典～ロマン)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な時代や作曲家のピアノ作品について理解する。 ・古典派からロマン派までの音楽について、時代ごとの特徴や作品等について理解する。
		【理論・ソルフェージュ】 ・音程について ・和音について ・視唱 ・聴音	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・音程について基本的な考え方を理解する。 ・和音やコードネームの仕組みや種類について理解する。 ・コールユーブンゲンを視唱できる。 ・簡単なリズム聴音や旋律聴音ができる。
三学期 (基礎力養成期)	1・2・3	【器楽】 ・和楽器に挑戦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・篠笛の仕組みや奏法等について理解する。 ・音を出すことができる。 ・簡単な曲を演奏することができる。
		【鑑賞】 ・さまざまな主題とその構成を聞き取ろう ・音楽史(現代)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ベートーヴェンの交響曲第9番について理解する。 ・現代の音楽について、時代ごとの特徴や作品等について理解する。
		【理論・ソルフェージュ】 ・視唱 ・聴音	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・コールユーブンゲンを視唱できる。 ・簡単なリズム聴音や旋律聴音ができる。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察法(出席、態度)</li> <li>・ワークシート</li> <li>・Music Note</li> <li>・実技テスト</li> <li>・単元別小テスト</li> </ul>
思考・判断・表現	それぞれのイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。	
主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に幅広い活動に取り組み、音楽に親しみながら生活や社会を明るく豊かなものにしていくとしている。	

使用教科書	高校生の美術1 (日本文教出版)	副教材等	
学習の到達目標	知識・技能	対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表す。	
	思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする。	
	主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付ける。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準	
			力強い表現力	思考力	表現力	課題を解決する力	課題を解決する力	課題を解決する力	課題を解決する力	課題を解決する力	課題を解決する力	課題を解決する力	課題を解決する力		
一学期	4	【鑑賞】 オリエンテーション 「美術とは何か」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	小中学校での活動を振り返りながら、教科書や資料を活用して美術を学ぶ意義を考える。 【知識・技能】 美術表現の多様性や社会の中での役割について理解することができる。 【思考・判断・表現】 美術と社会や日常生活との関わりについて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 これまでの活動を振り返り、今後の学習の目標を明確にしようとする。
	5	【表現・鑑賞/絵画】 鉛筆デッサン 「形、空気、光を描く」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	幾何形体や自分の手をモチーフに、対象の構造や立体感、光線や陰影、空間との関係に着目しながらデッサンする。 【知識・技能】 対象を観察する際のポイントや鉛筆の使い方を理解することができる。 【思考・判断・表現】 対象の特徴を捉え、用具の使い方を工夫しながら表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な視点から観察するなど、対象の特徴について理解しようとする。
	6 7	【表現・鑑賞/デザイン】 パッケージのデザイン 「ペットボトル飲料のラベルデザイン」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	様々な商品パッケージやラベルの特徴、意義について学び、オリジナルの飲料を想定してペットボトルラベルのデザインを行う。 【知識・技能】 パッケージやラベルの意義、造形的な工夫や魅力について理解することができる。 【思考・判断・表現】 原料や商品名などオリジナルの飲み物を想定し、特徴やイメージ、アピールポイントなどを踏まえた上で造形的な工夫をし、ラベルのフォーマットでデザインすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に情報を集め、アイデアスケッチを重ねてデザインをブラッシュアップすることができる。
二学期	9	【表現・鑑賞/絵画】 アクリル絵具による空想画 「超現実への扉」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	シュルレアリスムについて学習し、空想することや偶然の効果を活かして非現実的な世界を表現した絵画制作を行う。 【知識・技能】 シュルレアリスムの歴史や特徴、多様な技法について理解することができる。 【思考・判断・表現】 空想を膨らませたり偶然の要素を取り入れながら作品の構想を練り、イメージに合った表現をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に様々な資料を収集し、アイデアスケッチや諸技法を多く試行しながら作品制作を行おうとする。
	10 11 12	【表現・鑑賞/映像メディア表現】 写真表現 「私の日常」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	構図や視点、光線など写真表現の基礎的な事項、デジタルカメラの構造などについて学び、自分の日常を象徴するような写真作品を作る。 【知識・技能】 写真表現における撮影時のポイントについて理解することができる。 【思考・判断・表現】 自分の日常を象徴するようなモチーフや場面設定を行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く撮影や試作を重ね、適切な構図や視点を探ろうとする。
	1 2	【表現・鑑賞/彫刻】 身近な素材による立体作品 (モビール) 「動く彫刻」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	身近な素材を組み合わせて、テーマ性を持ったモビールを作成する。 【知識・技能】 立体表現としてのモビールのよさや特徴について理解することができる。 【思考・判断・表現】 素材の特長を活かしてイメージに沿ったデザインや造形を行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 テーマに合った素材について探求しようとする。
三学期	3	【鑑賞】 「陰影礼賛～日本人の美意識を深る」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	谷崎潤一郎著「陰影礼賛」を軸に、日本美術の特徴や歴史、西洋美術との共通点や違いについて学ぶ。 【知識・技能】 日本美術のよさや特徴について理解することができる。 【思考・判断・表現】 西洋美術との違いについて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に情報収集し、理解を深めようとする。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	・授業態度 ・ワークシート ・作品 ・小テスト
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	・授業態度 ・ワークシート ・作品
主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付けている。	・授業態度 ・ワークシート ・作品

使用教科書	書I(東京書籍)	副教材等	
学習の到達目標	知識・技能	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉える。	
	主体的に学習に取り組む態度	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付ける。	

学年	学期	月	単元名	基礎力		思考力				実践力				活動内容・評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	知識・技能	思考・判断・表現	知識・技能	思考・判断・表現	知識・技能	思考・判断・表現					
一年	一学期	4	【書へのいざない】 【篆刻の学習】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。 【思考・判断・表現】 ・用具・用材を生かして作品を構想し工夫している。 ・作品の価値やその根拠について考え、書のよさや美しさを感じている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
		5 6 7	【漢字の書】 楷書 【大成書院版】『孔子廟祝詞』 【漢字の書】 楷書のよさと創作	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 ・書体や書風と用筆、運筆との関わりについて理解している。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 ・古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付けている。 ・漢字の書体の変遷について理解している。 【思考・判断・表現】 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ・意図に基づいた表現について構想し工夫している。 ・創造された作品の価値とその根拠、生活における書の効用について考え、書のよさや美しさを感じて捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に漢字の書の幅広い表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
一年	二学期	9 10	行書 【藤野切第三種】 【藤野切第三種】 草書 篆書 隷書 漢字の書の鑑賞 漢字の書の創作	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 ・線質や書風と用筆、運筆との関わりについて理解している。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 ・連筆と草書、隷書や字形を生かした表現の技能を身に付けている。 ・仮名の成立等について理解している。 【思考・判断・表現】 ・古典に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ・意図に基づいた表現について構想し工夫している。 ・創造された作品の価値とその根拠、生活における書の効用について考え、書のよさや美しさを感じて捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に漢字の書の幅広い表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
		11	【生活の中の書】 実用書・年賀状	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・目的や用途に即した効果的な表現の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。 ・生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを感じて捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・書を通して心豊かな生活や社会を創造しようとしている。
		12	【仮名の書】 基本的用筆・平仮名・連綿	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 ・線質や書風と用筆、運筆との関わりについて理解している。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 ・連筆と草書、隷書や字形を生かした表現の技能を身に付けている。 ・仮名の成立等について理解している。 【思考・判断・表現】 ・古典に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ・意図に基づいた表現について構想し工夫している。 ・創造された作品の価値とその根拠、生活における書の効用について考え、書のよさや美しさを感じて捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に仮名の書の幅広い表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
一年	三学期	1	【藤野切第三種】 【藤野切第三種】 仮名の書作品制作	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 ・線質や書風と用筆、運筆との関わりについて理解している。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 ・連筆と草書、隷書や字形を生かした表現の技能を身に付けている。 ・仮名の成立等について理解している。 【思考・判断・表現】 ・古典に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ・意図に基づいた表現について構想し工夫している。 ・創造された作品の価値とその根拠、生活における書の効用について考え、書のよさや美しさを感じて捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に仮名の書の幅広い表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
		2 3	【漢字仮名交じりの書】 漢字と仮名の調和 紙面構成 作品制作	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質・字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 ・目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について工夫している。 ・創造された作品の価値とその根拠、生活における書の効用について考え、書のよさや美しさを感じて捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の特徴に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ・書のよさや美しさを感じ、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表現している。	・意見交換や観点の確認(活動の様子・ワークシート) ・作品制作・作品制作後の振り返り(作品・ワークシート)
思考・判断・表現	・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えることができる。	・表現の意図の創出、言葉の選定、構想・工夫の構築等(ワークシート) ・意図に基づいた作品制作・制作過程の記録(作品・ワークシート) ・相互鑑賞や意見交換を通しての自己評価と構想・工夫の見直し(活動の様子・ワークシート)
主体的に学習に取り組む態度	・主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付けている。	・表現の意図、構想、表現の工夫の取り組みの記録(ワークシート) ・表現を工夫して表す活動への取り組み(作品・活動の様子) ・鑑賞及びそれを通して考えたことや生かそうとする取り組み(活動の様子・ワークシート)

使用教科書	All Aboard! English Communication I Revised (東京書籍)	副教材等	英作基本文例600(啓隆社)他
学習の到達目標	知識・技能	日常的・社会的話題について書かれた・話された内容を捉えたり、基本的な語句や文を用いて情報や考えなどを伝えたりする技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	目的や場面、状況に応じて、話し手や書き手の意図や概要を捉えたり、情報や考えを論理的に注意して伝えたりする。	
	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に理解を深め、主体的・自立的に英語を用いてコミュニケーションを図る態度を養成する。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準		
			力理解・礼儀(基礎人間)	思考となる学力(基礎学力)	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力・推察力	課題を捉える力	多角的・多面的に物事を捉える力	論理的思考力	情報活用能力(批判的・創造的)	情報発信力	課題を解決する力		アセスメント力(自己評価)	主体的な行動力
一学期	4	Lesson 1 Breakfast around the World	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「知識・技能」 ・動詞の活用形、連行形、助動詞、不定詞の用法を理解している。 ・世界の朝食・好きな食生活について、考えを伝えられる。 「思考・判断・表現」 ・相手の意見を聞き、自分の考えをまともな伝え合いができる。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・食生活について、相手の意見を知り、自分の好みやその理由を話したり書いたりして伝え合おうとしている。
	5 6	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas Lesson 3 Life with Spade	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「知識・技能」 ・インターネット上の野生動物について伝える技能を身に付けている。 ・画像や音声と動物の生活について、動物図鑑(www.nsl.jp)の理解をもとに概要や要点を捉える技能を身に付けている。 「思考・判断・表現」 ・相手の意見を聞き、自分の考えをまともな伝え合いができる。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・動物図鑑(www.nsl.jp)を用いて、自分の不定詞であることについて、情報や考えを話したり書いたりして伝え合おうとしている。
	7	Lesson 4 A Miracle Mirror	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「知識・技能」 ・行ってみたい場所ややりたいことについて、情報を伝えられる。 「思考・判断・表現」 ・海外の観光地について書かれたメールを通して、その魅力を伝えることができる。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・行ってみたい場所ややりたいことについて、考えや気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとしている。
二学期	9	Lesson 5 A Dream Engine	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「知識・技能」 ・動名詞を用いた文の語、意味・用途を理解している。 ・言葉のニュアンス、発音やアクセントなどによる高次の活動について、動名詞の理解をもとに概要や要点を捉える技能を身に付けている。 「思考・判断・表現」 ・学んだことを活用しながら、自らの夢や先見性を感じることについて、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・自らの夢や先見性を感じることについて、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。
	10 11	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「知識・技能」 ・江戸時代の浮世絵師、東国図巻について、受け身(動詞+過去分詞)の理解をもとに概要や要点を捉える技能を身に付けている。 「思考・判断・表現」 ・東国図巻の浮世絵について読みだしたことを活用しながら、好きな絵とその理由について伝え合っている。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・自分で調べた情報や好きな理由などについて、話したり書いたりして伝え合おうとしている。
	12	Lesson 7 A Diary of Hope	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「知識・技能」 ・比較表現をもとに、関心のある人物について自分で調べた情報を伝え合う技能を身に付けている。 「思考・判断・表現」 ・アセスメントで自分の生活と彼女の生活について読みだしたことを活用しながら、関心のある人物について伝え合っている。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・関心のある人物について、相手の意見を知り、自分の考えを伝えようとしている。
三学期	1	Lesson 8 A Door to a New Life	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「知識・技能」 ・現在完了形、名詞を修飾する分詞・関係詞を理解している。 ・ロボットやAIやドローンについて調べ理解している。 「思考・判断・表現」 ・人の生活を豊かにするロボットのアイデアを考え表現できる。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・人の生活を豊かにするロボットのアイデアを考え、それを機軸とする記事を書いたり話したりしようとしている。
	2	Lesson 9 Ghosts in the Oceans	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「知識・技能」 ・ゴーストリアについて、分詞の位置修飾の理解をもとに概要や要点を捉える技能を身に付けている。 「思考・判断・表現」 ・自分で調べた情報を用いて、情報や考え、気持ちなどを話したり書いたりして伝え合う技能を身に付けている。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・地域の環境問題に対する取り組みについて、情報や考え、自分たちができることなどを伝え合おうとしている。
	3	Lesson 10 Pigs from across the Sea	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「知識・技能」 ・第二次世界大戦中の沖縄とハワイからの援助や、両地域の現在の交流について学び、海外の文化や社会を理解している。 「思考・判断・表現」 ・海外の文化や社会を理解する手段について自分で調べた情報を用いて、考えや情報などを話して伝えることができる。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・海外の文化や社会を理解するための情報を伝え合おうとしている。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・事後的な知識の習得を問う小テスト ・知識の概念的な理解を問う小テスト ・課題実力検査や定期検査及び単元テスト
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	・パフォーマンステスト ・グループでの話し合い(やりとり)や発表(発信) ・小テスト、課題実力検査、定期検査及び単元テスト
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	・ノートの記入状況 ・課題の取り組み状況と提出状況 ・授業態度、グループにおける話し合い(参加態度) ・取り組みの自己評価の内容

使用教科書	All Aboard! English Communication II (東京書籍)	副教材等	英作基本文例600(啓隆社) 他
学習の到達目標	知識・技能	一定の支援を活用して、必要な情報や概要を捉えたり、基本的な語句や文を用いて伝える。	
	思考・判断・表現	日常的・社会的な話題について、概要や要点を目的に応じて捉えたり、論理性に注意して話したり書いたりする。	
	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化への理解を深め、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準		
			方探検・礼儀(基礎人間)	上なる・学方(知識)	コミュニケーション能力	情報収集力	方想像力・未来を予測する	課題を発見する力	方客観的に物事を見つめる	論理的思考力	方情報分析力(批判的)	創造する力	情報活用能力		課題を解決する力	主体的な行動力
一学期	4 5	Lesson 1 A Colorful Island	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知識]関係代名詞whatを用いた文の形・意味を理解している。 [技能]関係代名詞whatの理解をもとに、自分で調べた事柄を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身に付けている。 [思考・判断・表現]海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとしている。
	6 7	Lesson 2 With the Beatles	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知識]比較表現 (more) (the most) を用いた文の形・意味を理解している。 [技能]比較表現 (more) (the most) の理解をもとに、自分で調べた事柄を用いて、理由などを話して伝え合う技能を身に付けている。 [思考・判断・表現]好きな人物について、自分の考えをまとめるために、好きな理由などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。
二学期	9 10	Lesson 3 Wild Men	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知識]itを用いた文 (It is... (for... to...)) (It is... that...)) の形・意味を理解している。 [技能]身近な行事について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを話して伝え合う技能を身に付けている。 [思考・判断・表現]身近な行事について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。 [主体的に学習に取り組む態度]身近な行事について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。
	11 12	Lesson 4 Little Hero	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知識]間接疑問文の形・意味を理解している。 [技能]間接疑問文の理解をもとに、自分で調べた事柄を用いて、考えや理由などを話して伝え合う技能を身に付けている。 [思考・判断・表現]好きな物語について、自分の考えをまとめるために、考えや理由などを話したり書いたりして伝え合っている。 [主体的に学習に取り組む態度]好きな物語について、自分の考えをまとめるために、考えや理由などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。
三学期	1 2	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知識]to不定詞を含む表現を用いた文の形・意味を理解している。 [技能]to不定詞を含む表現の理解をもとに、歌舞伎と関係について、情報や考えなどを話して伝え合う技能を身に付けている。 [思考・判断・表現]日本の伝統文化について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。 [主体的に学習に取り組む態度]日本の伝統文化について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。
	3	Reading 1 Mujina	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知識]物語のあらすじを理解している。 [技能]あらすじをふまえて、情景や心情が開き手に伝わるように音読できる。 [思考・判断・表現]物語について、自分の考えをまとめ、考えや理由などを話したり書いたりして伝え合っている。 [主体的に学習に取り組む態度]物語の音読・暗唱を前向きに取り組んでいる。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・ 事実的な知識の習得を問う小テスト ・ 知識の概念的な理解を問う小テスト ・ 課題実力検査や単元テスト、定期検査
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	・ パフォーマンステスト ・ グループでの話し合い(やりとり)や発表(発信) ・ 小テスト、単元テスト、課題実力検査、定期検査
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	・ ノートの記入状況 ・ 課題の取り組み状況と提出状況 ・ 授業態度、グループにおける話し合い(参加態度) ・ 取り組みの自己評価の内容

使用教科書	All Aboard! English Communication II (東京書籍)	副教材等	英作基本文例600(啓隆社)他
学習の到達目標	知識・技能	日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞いたり読んだりして、その意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりする。	
	思考・判断・表現	基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやりとりを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりする。	
	主体的に学習に取り組む態度	基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えたり、文章を書いて伝えたりする。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力					活動内容・評価基準			
			方探 と と と	方探 と と と	方探 と と と	方探 と と と	方探 と と と	方探 と と と	方探 と と と	方探 と と と	方探 と と と	方探 と と と	方探 と と と	方探 と と と	方探 と と と				
一学期	4 5	Lesson 6 Seeds for Future Generations	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知識・技能]動詞の目的語になる「語を用いた文の形・意味を理解している。... [主体的に学習に取り組む態度]伝統野菜に関して聞いたり読んだりしたことを活用しながら、地元の有名な場所やものについて、考えや情報などを伝え合おうとしている。
	6 7	Lesson 7 Over the Wall	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知識・技能]関係副詞where, whenを用いた文の形・意味を理解している。... [主体的に学習に取り組む態度]外国の人々と交流する方法について自分で調べた事情を用いて、情報や考えなどを伝え合おうとしている。
二学期	9 10	Lesson 8 Inspiration from Nature	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知識・技能]加覚動詞を用いた文の形・意味を理解している。... [主体的に学習に取り組む態度]自然界のデザインをヒントに開発された製品について相手の意見を知り、自分の考えを話したり書いたりして伝え合おうとしている。
	11 12	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知識・技能]世説動詞を用いた文の形・意味を理解している。... [主体的に学習に取り組む態度]チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について、考えを話したり書いたりして伝え合おうとしている。
三学期	1	Lesson 10 Fighting Angel	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知識・技能]分詞構文を用いた文の形・意味を理解している。... [主体的に学習に取り組む態度]ナイチンゲールの生涯について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、人を助ける職業について、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・事実的な知識の習得を問う小テスト ・知識の概念的な理解を問う小テスト ・課題実力考査や定期考査 ・単元テスト
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	・パフォーマンステスト ・グループでの話し合い(やりとり)や発表(発信) ・小テスト、課題実力考査、定期考査、単元テスト
主体的に学習に取り組む態度	外国語の音声にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	・ノートの記入状況 ・課題の取り組み状況と提出状況 ・授業態度、グループにおける話し合い(参加態度) ・取り組みの自己評価の内容

使用教科書	ウェルビーイングにつながる家庭基礎 (教育図書)	副教材等	ウェルビーイングにつながる家庭基礎マスターノート (教育図書) 家庭科55デジタル+ (教育図書)
学習の到達目標	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付ける。 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に努めようとする。	

学期	月	単元名	基礎力		思考力					実践力					活動内容・評価規準	
			問題発見力	課題設定力	情報収集力	意思決定力	問題発見力	問題解決力	協働力	表現力	問題発見力	問題解決力	協働力	表現力		
一学期	4	家庭科の学びについて A編 Introduction 生涯の生活設計! 自分の将来をイメージしよう!														【知識・技能】 ・生涯を通じた観点から、青年期の課題である自立・男女の平等と協力・意思決定の重要性、生活環境や家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について理解している。 【思考・判断・表現】 ・家庭や地域によりよい生活を創造するために、男女が協力して、変化の一員として役割を果たし、家庭を築くことについて主体的に考え、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、生活を工夫し創造し、実践し、課題解決に向けた活動を振り返って改善しようとしている。
	5	第1章 青年期の自立と家族・家庭 1 自立への一歩を踏み出そう 2 家族・家庭って何? 3 将来の自分と家庭を想像しよう														
	6	B編 第2章 衣生活と健康 1 衣服の役割ってなんだろう? 2 衣服はどうやってつくられている? 3 衣服の計画・管理を知ろう 4 今後の衣生活を考えよう														
二学期	7	第3章 住生活と住環境 1 私たちの暮らす住まいとは? 2 快適・安全に暮らそう 3 持続可能な住まいのために														【知識・技能】 ・ライフステージや目的に応じた部屋の機能と善美について理解しているとともに、健康や快適な住生活に必要な情報の収集・整理ができる。部屋設計、装飾構成及び設備設計について理解しているとともに、部屋の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ・ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住生活の機能について理解しているとともに、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・部屋の機能性や快適性、安全で環境に配慮した部屋の管理や目的に応じた善美について、問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。 ・住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の構築に向けて、住生活と健康について課題の解決に主体的に取り組んだり、生活を工夫し創造したり、実践・改善しようとしている。
	9	第1章 食生活と健康 (フードデザインで扱う) 1 食をどう食べるのだから? 2 私たちは何を食べている? 3 食生活を振り返ろう 4 食と健康の関係を考えよう 5 持続可能な食生活を目標とせよ														
	10	第2章 子どもと生活と保育 1 子どもはどう生まれ育つ? 2 子どもは生活にどうかわる? 3 子育ての課題とは?														
三学期	11	第3章 高齢者の生活と福祉 1 高齢化ってどういう時局? 2 高齢化する日本を生きる														【知識・技能】 ・高齢者の心身の特徴や高齢者を取り巻く社会環境、自立支援や介護について理解し、生活支援の基礎的な技能を身に付けている。生涯を通じて家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 【思考・判断・表現】 ・高齢者の自立生活を支える家族や地域及び社会の果たす役割や共に支え合う生活することについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・高齢者の生活・共生社会と福祉について課題の解決に主体的に取り組もうとす、よりよい社会の構築に向けて生活を工夫し実践しようとしている。
	12	第4章 共生社会と福祉 1 共生ってなんだろう? 2 とともに支え合う社会とは														
1	C編 第1章 消費生活と経済計画 1 何をどうやって買う? 2 消費者問題と消費者を守るしくみとは 3 消費者の権利と責任を考えよう 4 社会経済につながる家計とは? 5 家計の経済計画を考えよう 第2章 持続可能なライフスタイルと環境 1 未来の地球環境は大丈夫? 2 持続可能な消費行動とは Summary 生涯の生活設計2 1 Well-beingを実現しよう															【知識・技能】 ・家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解している。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護のしくみについて理解しているとともに、生活情報を適切に収集・整理できる。 【思考・判断・表現】 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。 ・自立した消費者として、生活情報を活用し適切な意思決定に基づいて行動することや賢い消費について、問題を見出して課題を設定し解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生活における経済の計画に主体的に取り組んだり、生活を工夫し実践したり、実践・改善しようとしている。 ・よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定や持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、生活を工夫し創造したり、実践・改善しようとしている。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・福祉と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	単元ごとの小テスト、定期テスト
思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	単元ごとのテスト・定期テスト、ワークシート、グループワーク
主体的に学習に取り組む態度	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。	ワークシート、レポート課題、グループワークの態度及び取り組み状況

